

「社会福祉のあり方検討会」報告書の章建て【未定稿】

平成12年11月8日

厚生省社会・援護局企画課

1. 問題意識と検討会の目的

豊かな社会になり、社会福祉制度が充実する一方、本来社会的な援護が必要な人に、相談活動や福祉サービスが届いていない、といった問題が発生。

問題を正確に把握し、その対応について検討する。

2. 検討の対象となる問題

社会的孤立と社会的排除の広がりによって、問題が見えにくくなったり、福祉の網からこぼれやすくなっている（別添「現代社会の社会福祉の諸問題」参照）。

従来の社会福祉は「貧困」を基準として対象としてきたが、今後は、

- ・「心身の障害・不安」（社会的ストレス問題、アルコール依存、等）
- ・「社会的排除や摩擦」（路上死・凍死、外国人・残留孤児、等）
- ・「社会的孤立や孤独」（孤独死・自殺、虐待・暴力、等）

といった、新しい軸をあわせて検討する必要がある。

3. 問題が発生しながら解決に至らない理由

○行政の側

- ・高齢者、障害者のような時代ごとの政策課題に逐次対応を特定化して制度を作ることによって、却って日々生起する社会事象への柔軟な対応が出来にくくなってきている現実
- ・公務員が制度の枠にとらわれ、硬直的な対応をする傾向（行政運用の下方硬直性）
- ・特定の問題に直面している人々が分散していることにより、行政がそれを課題集団として認識できず、「見えにくい」問題が発生していること

○家庭・地域社会の側

- ・従来、自助・共助として、個別の困難な事例を受け止め、解決してきた家族や地域のつながりが希薄化
- ・個人の側からも、従来の固定的価値観や生活習慣が崩れたことにより、他者との深い絆なしに生きられる社会に変質したことによる問題

4. 問題の把握の視点

- ①問題発生の社会的背景 ②問題の所在 ③問題の性格 ④問題発生事由 ⑤問題の拡がり

家庭基盤(の脆弱化)
地域社会(の変化)
産業構造(の変化)

家庭・個人
地域
社会(職場・学校)

個人的(疾病等)
社会的(人間関係)
経済的(貧困等)

今日の問題
伝統的問題

事例ごとの深刻度(質)
人数の規模(量)

5. 対応の道筋

- ①問題の評価 ②現行制度との関係 ③解決の方法 ④解決のための実践的アプローチ

新しい問題
判断基準の変化
発生形態の変化

そもそも制度がない
制度に該当しない
制度がうまく運用されていない
制度にアクセスできない(情報不足)

公的サービスによる対応
社会福祉法人等による対応
地域社会による対応

問題発生を前提とした予防装置
特別なニーズへの救済的アプローチ

6. 新しい福祉の考え方

- (1) 新たな福祉課題への対応の理念 — 今日的な「つながり」の再構築
- ・ 孤立や孤独、あるいは排除や摩擦をできるだけ少なくして、社会の構成員として包含していく支援（ソーシャル・インクルージョン）
 - ・ 金銭・サービスの給付とともに、問題発見・つながりの重視へ（社会福祉の方法論の拡大・確立）
 - ・ NPO、生協など地域社会におけるつながりの展開（「公」の創造）
- (2) 福祉課題への対応の方法
- ・ 公的制度の柔軟な対応と地域社会での自発的支援
 - ・ 社会福祉の専門化（技術）と医療・保健サービスとの連携強化
- (3) 主体性や責任との調和
- ・ できるだけ個々人の主体性を尊重し、責任を果たしていける社会構成員としての生活を実現できるような支援

7. 社会福祉に関する相反する要請

- 専門性の向上を図るための制度の分化と、総合性を確保するための制度の調和 — 地域福祉
- 制度化を必要とする課題と、制度的でない手法によって対応すべき課題の整理についての社会的合意形成
- 専門家の養成・確保と幅広い住民の参加
- 個人のプライバシー・自由と社会福祉の連結のあり方の整理

8. いくつかの具体的提言

(例)

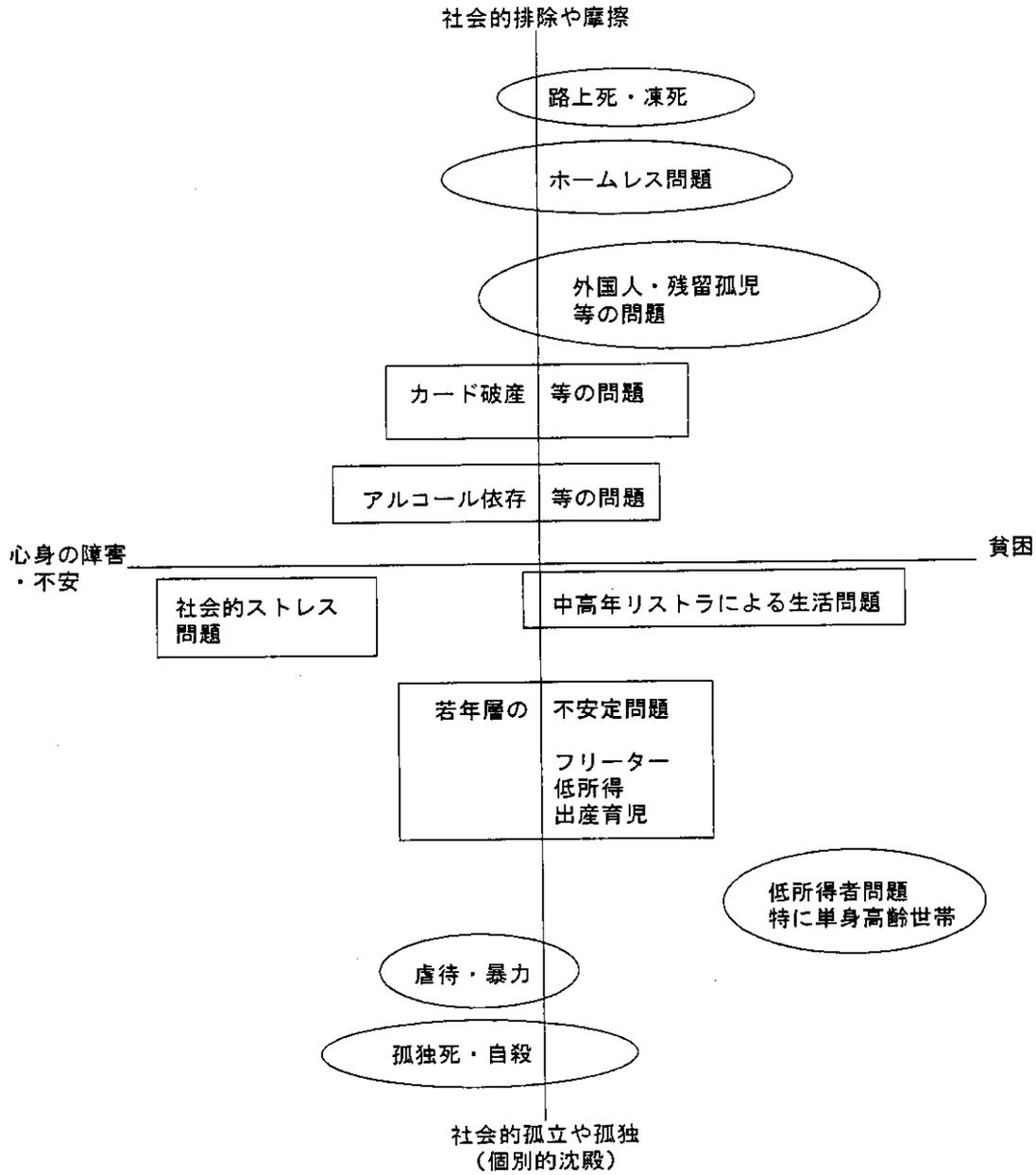
- 共通の課題を有する人々の定期交流のための場の提供や、受診をきっかけとした仲間づくりの支援
- 福祉給付の対象とならなかった者の面接記録の分析
- ワンストップサービス（通訳ボランティアの協力を得た外国人に対する総合案内）

- 周辺住民の協力を得て行う民生委員の見守り機能
- 民生委員やNPOが音頭をとった、関係機関の連絡会の開催と情報交換
- 福祉と医療の総合化（トータルケアシステム）
- 社会福祉法人などが創立の趣旨に立ち帰り、地域の福祉問題を発見・対応する取り組みを強化

- 福祉分野と他分野との連携の強化（建設・労働部局、水道、電気等）
- 宿泊、食事、風呂等の選択的利用を認める個別対応プログラム

現代社会の社会福祉の諸問題

平成12年11月8日
厚生省社会・援護局企画課



※横軸は貧困と、心身の障害・不安に基づく問題を示すが、縦軸はこれを現代社会との関連で見た問題性を示したもの。

※各問題は、相互に関連しあっている。

※社会的排除や孤立の強いものほど制度からも漏れやすく、福祉的支援が緊急に必要。